

生物多様性に関するアンケート - 自然の恵みと事業活動との関係調査 - 調査票〈2016年度〉

付属資料 2

ご回答締切日：2016年10月31日

2016年10月3日
一般社団法人 日本経済団体連合会
経団連自然保護協議会
生物多様性民間参画パートナーシップ

2010年に名古屋で開催されたCOP10において「愛知目標」が定められ、2010年から2020年に向けて、「生物多様性の主流化」に取り組むこととされています。そこで、企業における生物多様性の取り組み状況等についてアンケートを行い、今後5年間にわたって企業の取り組みを把握することとしました。また、調査結果を公表することによって、先進的な企業の取り組み事例等を参考にして、各企業における今後の活動を充実していく一助としていただくことを期待します。まだ充分に取り組んでいない企業を含め、是非ともアンケートへの協力をお願い致します。

本アンケートは、昨年度まで「生物多様性民間参画パートナーシップ事業者会員アンケート」として実施してきた調査を、本年度から調査対象を拡大して実施するものです。

回答項目は2種類あります。

下線付き青字は参考情報のリンク付きです。

自由記入(文字、数字など)項目は青色背景色です。

選択(プルダウンメニュー)項目は黄色背景色です。

I. 回答事業者に関する基礎情報

貴社名	
ご担当部署名	
ご担当者氏名	
連絡先	TEL
	FAX
	e-mail

以下の各項目について、1つずつ該当するものを選んで下さい。

<(1)主な事業内容> 【製造業】 (a)食料品 (b)繊維製品、紙・パルプ、化学 (c)医薬品 (d)石油・石炭製品 (e)ゴム製品、ガラス・土石製品 (f)鉄鋼、非鉄金属、金属製品 (g)機械、電気機器、輸送用機器、精密機器 (h)その他製品	【非製造業】 (i)農林・水産業 (j)鉱業 (k)建設業 (l)電気・ガス業 (m)陸運・海運・空運業、倉庫・運輸関連業 (n)情報・通信業 (o)卸売・小売業 (p)銀行・証券・保険業、その他金融業 (q)不動産業 (r)その他サービス業等
<(2)従業員数> (a)99人以下 (b)100人～299人 (c)300人～499人 (d)500人～999人	(e)1,000人～2,999人 (f)3,000人～4,999人 (g)5,000人以上
<(3)資本金> (a)50百万円未満 (b)50百万円以上、100百万円未満	(c)100百万円以上、300百万円未満 (d)300百万円以上

以下の各項目について、あてはまるもの全てに✓印を選んで下さい。

<(4)貴社の会員登録状況について>	
	(a)一般社団法人 日本経済団体連合会
	(b)経団連自然保護協議会
	(c)生物多様性民間参画パートナーシップ

ご回答いただいた内容につきましては、集計した上で公表させていただきます(個別のご回答内容を公表することは一切ございません。但し[問16]を除く)。また、ご回答内容・個人情報などにつきましては、経団連の個人情報保護規程などに基づき、厳重に管理致します。

[次のシートへ](#)

II. 認知度

【問1】「生物多様性」という言葉について、(1)貴社の経営層と(2)大多数の従業員のそれぞれの認知度はいかがですか。もともとあてはまると思われるものを、ひとつずつ選んで下さい。

(1)経営層	(2)大多数の従業員	「生物多様性」の言葉の認知度
		(a)言葉の意味を知っている
		(b)意味は知らないが、言葉は聞いたことがある
		(c)聞いたことが無い
		(d)わからない

(生物多様性とは)

【問2】貴社の経営層は「愛知目標」をご存知ですか。

	(a)知っている
	(b)知らない

(愛知目標とは)

III. 貴社の経営・事業活動との関係

【問3】貴社の経営理念、経営方針、環境方針等に、以下のそれぞれの概念が盛り込まれていますか。または盛り込む計画はありますか。各項目について以下(a)～(c)から1つずつ選んで下さい。

盛り込みの状況	概念の種類	選択肢
	(1)自然保護	(a)盛り込まれている (b)盛り込まれていないが、計画がある (c)盛り込まれておらず、計画も無い
	(2)生物多様性保全	
	(3)生物資源の持続可能な利用	
	(4)生物資源の利用にあたっての公平・公正性の確保	
	(5)自然環境教育	

【問4】(1)貴社独自の「生物多様性宣言」や、生物多様性に関する「行動指針」「ガイドライン」などを作成していますか。以下(a)～(c)から1つを選んで下さい。

	(a)作成済み
	(b)作成中または計画あり
	(c)計画なし
(a)の場合、その名称	

(2)前項(1)で(a)、(b)を選択した場合、それは生物多様性に関する単独の文書でしょうか、それともCSRや環境全般に関する文書の一部としてでしょうか。以下(a)、(b)から1つを選んで下さい。

	(a)生物多様性に関する独立した宣言、指針、ガイドラインとして作成
	(b)CSRや環境問題全般に関する文書の一部として作成

【問5】貴社では、環境報告書やホームページ等において、生物多様性に関する情報公開を行っていますか。以下(a)～(c)から1つを選んで下さい

	(a)行っている
	(b)行っていないが、行うことを検討している
	(c)行っていない

【問6】貴社では、事業活動が生物多様性に与える影響や事業活動が依存している自然の恵み(生態系サービス)等、事業活動と生物多様性の関係についてどのように把握していますか。あてはまるもの全てに✓印を選んで下さい。

	(a)全般的に定量的に把握している
	(b)一部定量的に把握している
	(c)全般的に定性的に把握している
	(d)一部定性的に把握している
	(e)定量・定性を問わず、把握していない

【問7】貴社では、生物多様性に関する取り組みを実施するにあたって、目標を設定していますか。以下の(a)～(e)から1つを選んで下さい。

	(a)定性目標と定量目標の両方を設定している
	(b)定量目標はないが、定性目標を設定している
	(c)定性目標はないが、定量目標を設定している
	(d)目標を設定していないが、設定に向けて検討している
	(e)目標を設定しておらず、設定する予定もない

【問8】【問7】で「(a)定性目標と定量目標の両方を設定している」又は「(b)定量目標はないが定性目標を設定している、或いは(c)定性目標はないが定量目標を設定している」と回答した企業にお伺い致します。生物多様性に関する具体的な目標について、あてはまるもの全てに✓印を選んで下さい。

目標の事例	
	①植林面積あるいは植林木数、森林保全面積の増加
	②会社案内、カタログ、名刺における森林認証紙の活用推進
	③内外セミナー実施等による「生物多様性」の主流化の促進
	④生物多様性に関する事業所毎の取り組み状況の把握
	⑤生物多様性に独自に取り組む事業所数の増加
	⑥NGO、自治体、学校等、地域の組織との協働機会の増加
	⑦事業所による「生物多様性の本箱」の寄贈推進 (生物多様性の本箱とは)
	⑧従業員による「生物多様性」の言葉の認識度の向上 (言葉の認識度とは)
	⑨UNDB-JのMY行動宣言の従業員向け実施 (MY行動宣言とは)
	⑩従業員の家庭における漁業認証等製品の購入促進
	⑪従業員ボランティアの参加機会の増加
	⑫その他、具体的に

【問9】【問7】で「(a)定性目標と定量目標の両方を設定している」又は「(b)定量目標はないが定性目標を設定している」と回答した企業にお伺いいたします。設定した定性目標が達成したかどうかの判断基準は何でしょうか。あてはまるもの全てに✓印を選んで下さい。

判断基準の事例	
	①会議体(部内会議、タスクフォース等)で協議する
	②関係者にアンケート調査を実施する
	③部署の責任者が最終的に判断する
	④議論の記録(会議の議事録等)を残す[過去事例と比較する]
	⑤議論の記録(付記された少数意見)を参照する[マイナス要素の改善状況]
	⑥目標に関連して設定した指標を参考にする
	⑦第三者(内部監査員等)意見を参考にする
	⑧目標の達成手段の進捗を参考にする
	⑨その他、具体的に

【問10】「生物多様性の経済的アプローチ」、「資源動員(資金投下)」についてお伺い致します。
(1)貴社では「生物多様性の経済的アプローチ」や「資源動員(資金投下)」に関連して、活動又は検討を行っていますか。各項目について、以下(a)~(c)から1つずつ選んで下さい。

活動又は検討の事例	選択肢
①自然資本[自然資本連合等]	(a)活動中 (b)検討中 (c)未対応
②環境会計[環境省等]	
③森林認証[FSC、PEFC、SGEC、公益的機能評価等]	
④森林関連認証[RSPO、レイフオレストアライアンス等]	
⑤漁業認証[MSC、ASC等]	
⑥資金支援[財団、基金等]	
⑦その他、具体的に	

注:『自然資本』とは、金融資本・人的資本・社会資本と並んで『自然の恵み』もまた企業の持続的発展に不可欠な『資本』であり、その他の資本と同様、毀損せず使うだけでなく、収益の一部を還元してより豊かなものにして返す、という理念を言葉にしたものです。

(2)「生物多様性の経済的アプローチ」や「資源動員(資金投下)」に関連して、活動又は検討を行っている場合、その目的は何ですか。あてはまるもの全てに✓印を選んで下さい。

目的の例	
	①製品・サービスの提供の付加価値を高めるため
	②自然保護の経費の妥当性を検証するため
	③開発等の事業計画(影響緩和コスト等)の企画・立案のため
	④報告書/レポートでの情報公開のため
	⑤その他ビジネスへの適用を評価するため
	⑥将来の税制や取引制度への準備、適応、リスク対応等のため
	⑦その他、具体的に

IV. 生物多様性の主流化

【問11】生物多様性主流化の1つの方法として、ISO14001などの既存の環境マネジメントシステムへの統合が考えられます。貴社ではどのような環境マネジメントシステムを保有していますか。あてはまる環境マネジメントシステムのすべてに✓印を選んで下さい。

	①ISO14001:2015年版
	②ISO14001:2004年版
	③エコアクション21
	④エコステージ
	⑤KES(京都環境マネジメント・スタンダード)
	⑥その他、具体的に

【問12】環境マネジメントシステムを保有している場合は、どのように生物多様性に関する項目を取り入れていますか。保有している環境マネジメントシステムであてはまるものすべてに✓印を選んで下さい。

	①生物多様性に関する項目は取り入れておらず、未検討である。
	②生物多様性に関する項目は取り入れていないが、検討中である。
	③環境方針に記述。(維持を意図する「配慮する」、「継続する」等の表現あり。)
	④環境方針に記述。(改善を意図する「推進する」、「強化する」等の表現あり。)
	⑤その他、具体的に

【問13】(1)生物多様性主流化のもう1つの方法として、事業における生物多様性配慮の組み込みや関連技術開発などの例があげられます。これらに対する取り組みを教えてください。以下(a)~(c)から1つを選んで下さい

	(a)すでに実施している
	(b)検討・計画している
	(c)特になし

(2)前項(1)で(a)か(b)を選択した場合、具体的にどのような取り組みを実施、検討、計画されていますか。可能な範囲でご記入下さい。

--

【問14】貴社で生物多様性の主流化を進めるうえで、阻害要因となっているものはありますか。あてはまるものすべてに✓印を選んで下さい。

阻害要因の例	
	①生物多様性は本業との関連性が低い
	②生物多様性への配慮や活動が事業の利益に結びつきにくい
	③生物多様性に関する目標・指標の設定、定量化・経済的評価が困難
	④生物多様性に関する具体的な手段・施策の策定が困難
	⑤生物多様性に関して、社会(顧客、サプライヤー等)の認知度や評価が低い
	⑥自社・関係会社のトップ、経営層、スタッフ等の知識・経験、理解・認識が薄い
	⑦自社(一般従業員等)の生物多様性に関する知識・経験、理解・認識が薄い
	⑧阻害要因は無い
	⑨その他、具体的に以下にご記入下さい

V. 貴社の具体的活動と愛知目標

【問15】貴社では、以下の活動を実施していたり計画していますか。各項目について選択して下さい。
 (下表は企業の具体的な活動と愛知目標との関連について、経団連生物多様性宣言「行動指針とその手引き」に則って、整理したものです。貴社の活動と愛知目標との関連性を理解する際にご活用下さい。)
 (参考) [・経団連生物多様性宣言 行動指針とその手引き](#) [・愛知目標\(20の個別目標\)](#)
[・生物多様性民間参画パートナーシップ 行動指針](#)

実施中/ 計画中/ 未対応	行動 指針	目標に関連する活動例	愛知目標番号
		【1】自然の恵みに感謝し、自然循環と事業活動との調和を志す	
	【1-1】	「生物多様性」の企業方針への盛り込み	1, 4
	【1-2】	経営者による従業員コミュニケーション	1, 4
	【1-2】	目標設定、事業計画への盛り込み	1, 4
		【2】生物多様性の危機に対してグローバルな視点を持ち行動する	
	【2-1】	海外現地法人、海外事業所を通じた活動	20
	【2-1】	自社製品を活用した保全活動	20
	【2-2】	法令や生物多様性民間参画がトライン等自主ルールの遵守	16
		【3】生物多様性に資する行動に自発的かつ着実に取り組む	
	【3-1】	グリーン調達	4, 5, 6, 7, 8, 14
	【3-1】	事業活動の環境への影響評価とその結果に基づく活動	4, 5, 6, 7, 9, 11, 12, 13
	【3-1】	土地利用に関する設計・工法の改善、モニタリング	4, 5, 11, 12, 19
	【3-1】	認証商品や環境対応商品の利用、採用、営業	4, 5, 6, 7, 14
	【3-1】	NGO等が行う調査・保全プロジェクトへの支援・協力	5, 9, 11, 12, 13, 15, 16, 20
	【3-3】	社有地管理における配慮や企業の森における保全活動	4, 5, 9, 11, 12, 13, 15
	【3-3】	緑地づくり、緑地の回廊的配置など生態系復元活動	5, 15
	【3-3】	マッチングギフトや売上げの一部の寄附	20
	【3-3】	従業員やその家族による保全活動(への協力)	20
		【4】資源循環型経営を推進する	
	【4-1】	エネルギー効率の向上	4, 5, 10
	【4-1】	資源循環、3R、汚染物質、化学物質の使用抑制、適正管理	4, 5, 8
	【4-1】	歩留まり改善	4, 5
	【4-1】	省エネルギーの推進	10
	【4-1】	間伐材の利活用等、持続可能な利用	7, 15
		【5】生物多様性に学ぶ産業・暮らし・文化の創造を目指す	
	【5-1】	関連技術開発	4, 8, 10, 12, 13
	【5-1】	バイオミミクリ等の技術開発	14
	【5-1】	先人の暮らし等からの学び	14, 18
	【5-3】	緑地づくり、緑地の回廊的配置など生態系復元活動	15
		【6】国内外の関係組織との連携・協力を努める	
	【6-1】	省エネ等環境対応商品の採用、販売	10
	【6-1】	環境配慮型地域産業振興(水産、農林)への貢献	6, 7
	【6-1】	ビジネスモデル、地域モデルの開発・普及	14
	【6-1】	NGO等が行う調査・保全プロジェクトへの支援・協力	15, 18, 19
	【6-2】	グリーン調達(製品・サービスの提供)や認証制度の利用	1, 4
	【6-2】	企業見学者の受け入れ	1
	【6-2】	企業報告書による情報開示	1, 4
	【6-2】	専門家やNGOと連携した生息調査	9
	【6-2】	モニタリングデータの開示	19
		【7】生物多様性を育む社会づくりに向け率先して行動する	
	【7-1】	環境に関する資格試験受験推奨	1, 4
	【7-1】	従業員環境教育	1, 4
	【7-2】	グリーン調達(製品・サービスの消費)	1
	【7-2】	学校と連携した環境教育や環境をテーマとした啓発活動	1, 4
	【7-2】	環境対応商品の開発・販売	1, 4
	【7-2】	認証制度の利用(製品・サービスの消費)	1

【問16】貴社が行っている具体的な活動のうち、特にアピールしたい取り組みや、力を入れている取り組みございましたらご記入下さい。(4活動以内、各々200字程度)。
 その際、それぞれの取り組みが愛知目標と経団連生物多様性宣言「行動指針」のどの項目にもっとも関連しているかについてもお知らせ下さい。
 また、関連するより詳細な情報が掲載されているHP等がありましたらそのURLについてもあわせてお知らせ下さい。
 なお、本項目の結果については、ご記入頂いた情報を好事例集等の事例として企業名を含めて公表させて頂く可能性があります。あらかじめご了解頂けますようお願い申し上げます。

具体的な取り組み	愛知目標	行動指針	参考資料(URLなど) 例: http://www.xxx.xxx 2016年CSR報告書p10

【問16】経団連や経団連自然保護協議会、「生物多様性民間参画パートナーシップ」について、ご意見・ご要望がありましたらご記入下さい。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。